



# 萱中だより

《校訓》 礼儀・自主・勤労・協同

三笠市立萱野中学校

校長 菊地 佳子

三笠市萱野 192 番地 Tel 2-2308

発行：令和2年5月29日 <2号>

## 萱中 朝活！！

今年度から朝学習の時間の更なる有効活用を目指し、これまで取り組んできた朝読書、昨年度から行っている朝の運動「スイッチ on タイム」、そして今年度からはさらに朝の英語の学習「Talk Time」を始めています。スタートして2週間で臨時休業に入ってしまいましたが、「スイッチ on タイム」は体力（全身持久力、敏捷性）の向上を目的に、「Talk Time」は英会話に慣れ親しみ、将来使える英会話の力をつけることやコミュニケーションを深めることを目的として行っています。

右記にある今年度の学校経営方針（構造図・グランドデザイン）を具現化した取組の一部となりますが、何事も継続して取り組むことで力はついてきます。また、やらされているという気持ちではなく、自分から進んで楽しもうと思うことで、その効果は何倍にもなります。せっかくの機会ですので、積極的に参加し、力を伸ばして欲しいと思います。

「継続は力なり・・・」です。がんばっていきましょう。

### 【 Talk Time 】

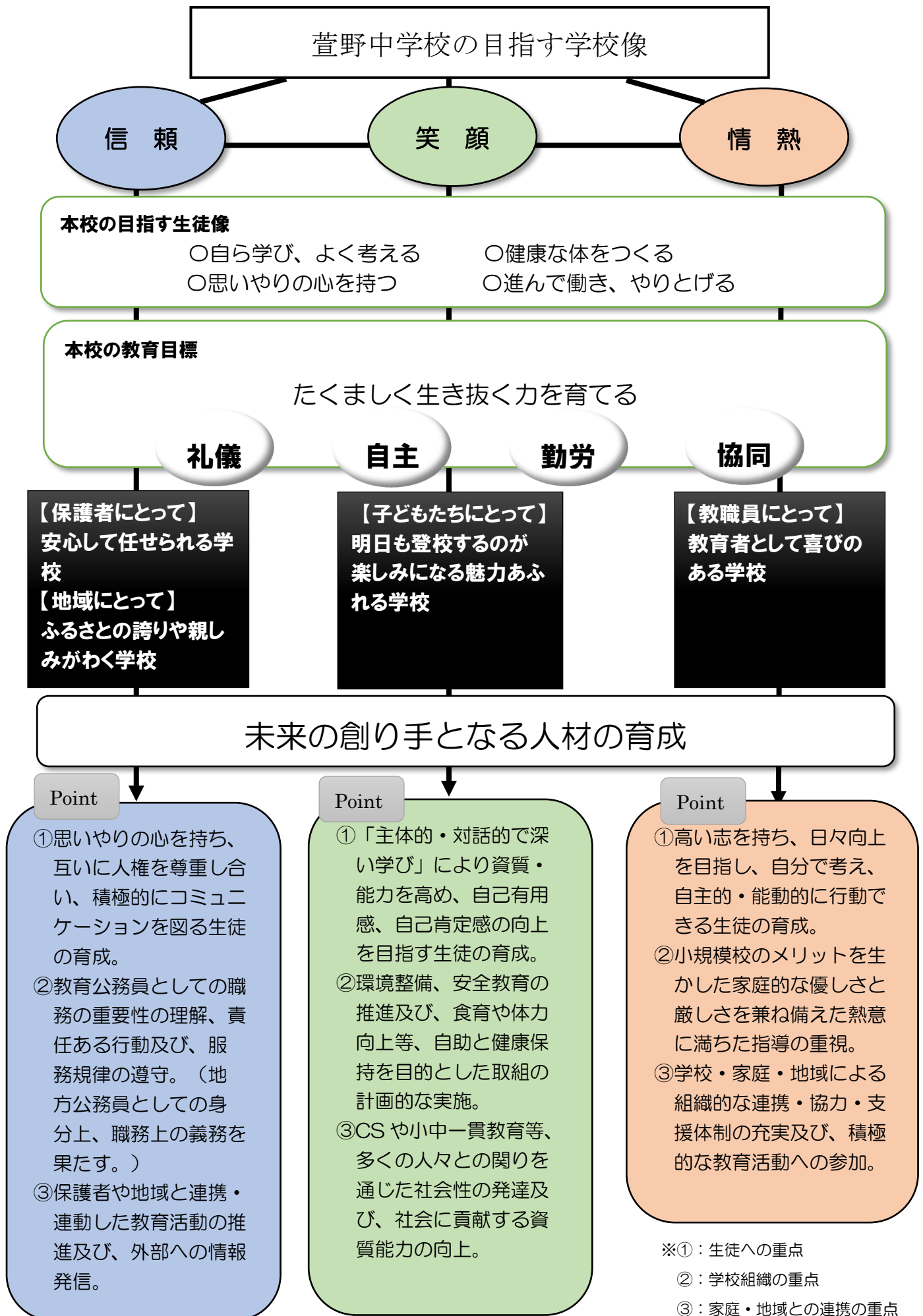


オールイングリッシュでの活動。ジェスチャーも交えながらの会話を楽しみます！！

### 【スイッチ on タイム】



新型コロナウイルス感染症が沈静化するまでは主に、ふきちゃん体操と縄跳びで体力強化！！



## 分散登校ができました

4月20日（月）から再びの臨時休業となっていました。5月18日（月）から分散登校が始まり学校に主役が戻ってきました。初日はボーッとしていた人も登校を重ねる度に、学校生活にも慣れてきたように思います。6月からは通常の形で再開されます。コロナに負けずにがんばりましょう！！



## ココロの授業をやりました

毎年SCの石川先生に行っている「ココロの授業」、今年度も11月に予定していましたが、現在の状況を考え、5月25日（月）に各学年で実施しました。度重なる臨時休業で少なからずストレスや不安を抱えているのではないかと思います。石川先生のお話を参考に、上手に解消していきましょう。



## 第1回

## 菅中スポーツ大会

運動会は中止になってしまいましたが、7月14日（火）3・4時間目に菅野中学校スポーツ大会を実施致します。生徒会種目等、運動会で行う予定だった種目を中心に行います。

平日になりますが、参観日にあわせての実施になりますので、多くの保護者の方にご覧いただければと思います。なお、雨天の場合は中止となり通常授業となります。ご了承下さい。



### ◆日課

会議日課 6h→15:00 下校  
5h→14:05 下校

### ◆SC

スクールカウンセラー来校日

【5月25日現在】

日	曜	学校行事	日課	給食	SC
1	月	衣替え準備		○	
2	火			○	
3	水			○	
4	木			○	
5	金			○	
6	土				
7	日				
8	月	委員会 衣替え(夏服~9/11)	会議	○	
9	火			○	
10	水			○	
11	木			○	
12	金			○	午前
13	土				
14	日				
15	月	教育相談(~19日)		○	
16	火	校内研修	会議	○	
17	水			○	
18	木	職員会議	会議	○	
19	金			○	
20	土				
21	日				
22	月	二者懇談(~25日)		○	午前
23	火			○	
24	水	チャレンジテスト配信日 市P連役員会		○	
25	木			○	
26	金	委員会	会議	○	
27	土				
28	日				
29	月			○	
30	火			○	

※1学期期末テストは7/16、17に延期となります。

度重なるメールの送信、いつもご苦勞をおかけしております。保護者の皆様の速やかな返信のおかげで、スムーズな連絡体制を整えられていることに感謝申し上げます。現在までも臨時休業のため、行事等、様々な変更をしておりますが、今後も多くの変更が予想されます。その都度、決定次第、メール等で速やかにお知らせをしていきたいと思っておりますので、これまで同様、返信等のご協力よろしくお願い致します。

# 見えていなかったことが見え始めて

校長 菊地 佳子

まずは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、日々ご尽力されている方々、多方面で自粛されているみなさん、そして学校が臨時休業になったことで、家庭での子どもたちの学習や生活を支えてくださっている保護者のみなさんに心から感謝申し上げます。

このまま感染者数が減少していきましたら、来週から学校再開となります。

さて、新型コロナウイルス感染症によって、気づかされたことがいくつかあり、「そうだったんだ!」と思うことがよくあります。その多くはコロナが流行する前の日常生活では、全くと言ってよいほど気にもしなかったことです。

## ①感染症の検査設備は残念ながら『先進国』ではなかったこと。

いろいろな分野で日本は世界の中でも進んでいる国だと思っていましたが、今回のウイルスに対しては、他国と同様に未知の感染症ということもあり対応に苦慮しています。何でも無い時こそ『最悪』を想定して備えることが大切だと思い知らされました。

## ②マスクや防護服は中国から。トイレトペーパーは国産。

使い捨てマスクが手に入らなくなり、ガーゼや晒でマスクを作ったり、キッチンペーパーで似たような形のマスクを作ったりしました。オイルショック以来の「並んで買う」「並んでも買えない」を経験し、トイレトペーパーやティッシュペーパーも購入制限がかかりました。医療や介護の現場でも衛生面では『使い捨て』しなければならない物も不足しているため、洗ったり違うもので代用したりしていました。いかに中国産の製品に支えられている生活であったか。「手に入らなければ作ってみよう。」と国内で別の物を作っていた工場や他業種の会社が、防護服やマスクを作り始めたことも報道されます。Made in Japan がコロナ収束後、増えるのでしょうか。いろいろなことが大きく変わることは予想できます。

## ③在宅勤務、外出自粛でテレワーク、リモート学習、Web 会議が急に広がったこと。

テレビをつけると、出演者が自宅から動画を送ってスタジオの動画と合わせて番組が作られることも珍しくなくなりました。学校もプリントの課題は出しているものの、分からないところは、メールで教科担とやり取りできるようにはしました。もっと設備が整っていれば、双方のリモート学習もできるのでしょうか、急には対応ができなかったというのが正直なところです。学校が再開したら、教科担を質問攻めにするくらい積極的な姿勢を期待しています。

ここまで世界中でコロナが蔓延してしまうなどとは2月や3月には思ってもみませんでした。しかし、この状況では『誰が感染してもおかしくない』ということは間違いありません。感染したからといって特別なことではないので、差別やいじめにつながらないように配慮しなければなりません。

6月、校内を消毒したり、机の配置を工夫したり、今まで以上に子どもたちの声に耳を傾ける等、安心して過ごせるよう準備して仕切り直しの1学期がスタートします。